

事業所安全祈念行事

8月9日、事業所安全祈念行事を行いました。東長原事業所では2008年8月9日と同年11月15日に二度のホスゲン漏洩事故を発生させた反省と教訓が風化しないよう毎年8月9日を特別安全祈念日と定め、安全に関する様々な行事を行っています。

当日は事業所稲荷神社で、管理職全員と、労働組合、職場、場内協力企業の代表の方々が参列して安全祈願を行った後、記念館と事業所内へのリモート配信で安全講演が行われました。

西村事業所長からは「ホスゲン漏洩事故を振り返って～その時、私は～」と題して、当時の事故発生の概要や状況、その当時東長原事業所に在籍していたご自身の行動や思いを振り返り、事故前日から当日以降の体験を熱く、臨場感をもって語っていただきました。続いて飛戸CMEO/CQOから「事故災害を繰り返さない、ゼロ災を達成するために」と題して、今年他拠点で発生した感電災害や水素カードル爆発事故の概要、更に過去に他事業所で発生したいたましい爆発事故については、遺族の方々の思いが掲載された新聞記事も読み上げられ、私達は悲しみで胸がいっぱいになりました。

これらの講演を聞いて、私たちが働いている化学工場では爆発・火災のリスクがあること、そして決して事故を起こしてはならないと改めて再認識しました。過去から学んだ事を活かし、今後も安全最優先を意識する事を従業員一同強く感じた一日となりました。



事業所稲荷神社での安全祈願



安全祈念行事講演



聴講の様子

クリーンデイ

5月30日(ごみゼロの日)、春のクリーンデイを実施しました。

クリーンデイは、CSR活動の一環として毎年春と秋に2回行っている清掃活動で、場内企業の皆さま、OB会の皆さまにご協力いただき実施しています。

作業は事業所前や東長原駅方面の周辺道路及び従業員駐車場などを中心に、①除草、②路上清掃、③ゴミ拾いの3つの班に分かれて行います。

時間は1時間ほどでしたが、ご参加いただいた皆様のおかげで事業所周辺がとてもきれいになりました。今後も活動を通じて地域貢献を続けていきます。



作業前KY



除草作業

納涼祭



こどもじゃんけん大会

その他にも子供向け屋台や、ミニSLやストラックアウトも終了間際まで人気で行列が絶えず、協力企業の方々による屋台では焼きそばやフランクフルトなどが用意され、こちらもご来場の皆様にご満足いただけたようです。

エンディングの花火は合間にナレーションを入れながら、20分間を3つのパートに分けて約100発の花火が上がりました。最後まで熱気が冷めやらない納涼祭となり、猛暑の中来場いただいた人数は1000名以上、ビール380L、地酒16升、ペットボトル1000本以上が消費され、暑さを物語る数字となりました。

今後も地域の方々や従業員に楽しんでいただける内容で納涼祭を盛り上げていきます。



屋台の様子



ミニSL



エンディングの花火

職場体験学習

東長原事業所はCSR活動の一環として、各種見学の受け入れやインターンシップの受け入れを実施していますが、このたびは地元の河東学園より、後期課程8年生(中学2年生)の職場体験学習の受け入れ先を、地元の製造業の企業にお願いしたいとの依頼があり、7月3日と4日の2日間で生徒1名を受け入れました。

1日目はIC課で現場パトロールや製品の水分測定を、2日目は品質保証グループで製品分析をしてもらったあと、総務グループで施設パトロールを行い、3職場で職場体験をしてもらいました。生徒からは、特に品質保証での分析業務に興味深かったとの感想があり、短い期間でも有意義な体験であったと感じています。また、このような形で地元の学校へ協力する事で、地域貢献ができた事を嬉しく思います。

今後も幅広い年代にレゾナックの魅力を発信していきます。



IC課での測定体験



品質保証Gでの分析体験